





子ども一人ひとりが**興味のある課題**を見つけ **夢中**になって探究する



# 未来チャレンジ 探究学習 (PBL)

安芸高田市立美土里中学校区 (美土里小学校・美土里中学校)  
**【研究主題】**  
 クリエイティブに思考し、表現する児童生徒の育成  
 ~自己の考えを発展させる「学び合い」の授業づくりを通して~

## 一人一探究

子ども一人一人が、好きなことや興味あることをテーマに、問いを立て、課題を解決し、自分なりの答えを出していく学習を進めています。

## コーチング

子ども一人一人に寄り添い、思いや考えを聴き、やりたいことを引き出し、課題解決の道のりを伴走します。

### 美土里中学校区の発達段階における探究イメージ

#### 小学校1・2年生

豊かな体験からたくさん  
の気づきをもつ  
★探究の芽を育てる  
★気づきの質を高める

#### 小学校3・4年生

豊かな体験をもとに問い  
を立て、収集した情報から  
自分なりの答えを出す  
★自分の好き・知りたい  
★自分のため 誰かのため (小)

#### 小学校5・6年生・中学生

すぐには答えの出ない問いを立て、多様な  
方法で情報収集を行い、根拠に基づ  
いて自分なりの答えを出す  
★自分のため 誰かのため (小)  
★誰かのため (中)

### 一人一探究の基本的な流れ

#### 小学校

**プレ探究**  
 問いの立て方や  
 情報収集の仕方を学ぶ

- ① PBLってなんだろう (ガイダンス)
- ② 体験しよう
- ③ 探究するテーマを決めよう
- ④ 問いを立てよう
- ⑤ 仮説を立てよう
- ⑥ 情報を収集しよう&やってみた!

#### 小中学校

- ⑦ 収集した情報を整理分析 (中間発表)
- ⑧ 仮説を見直そう
- ⑨ 発表の準備をしよう (スライドや実演等)
- ⑩ 発表しよう・提案しよう
- ⑪ 自分たちの探究を振り返ろう

#### 中学校

**校外学習**  
 「誰かのため」の視点  
 でテーマを探す

## 1年次 どんなPBLにする?

「問いが立てられない!」「何をしたらいいのかわからない!」「調べた後どうするの?」

### ■「やってみた!」を推奨



### ■マッピング



### ■上級生から下級生へアドバイス



### ■掲示物で見通し



### ■進捗確認シートで共有

項目	進捗確認シート	共有
1. 課題	「誰かのために」をテーマに、地域の課題を調べ、自分なりの問いを立てる。	「誰かのために」をテーマに、地域の課題を調べ、自分なりの問いを立てる。
2. 仮説	「誰かのために」をテーマに、地域の課題を調べ、自分なりの問いを立てる。	「誰かのために」をテーマに、地域の課題を調べ、自分なりの問いを立てる。
3. 情報収集	「誰かのために」をテーマに、地域の課題を調べ、自分なりの問いを立てる。	「誰かのために」をテーマに、地域の課題を調べ、自分なりの問いを立てる。
4. 発表・提案	「誰かのために」をテーマに、地域の課題を調べ、自分なりの問いを立てる。	「誰かのために」をテーマに、地域の課題を調べ、自分なりの問いを立てる。

なるほど。そう考えたんだね。

### 【成果 (○) 課題 (●)】

- 全員が一人一探究を発表することができた。
- 数例、探究に深まりが見られた。
- 調べてインターネット記事をまとめて終わり、というのや、解決できないテーマもあった。

みんなと同じテーマの時より、「次はこうしよう」とどんどん課題が出てきて楽しかった。



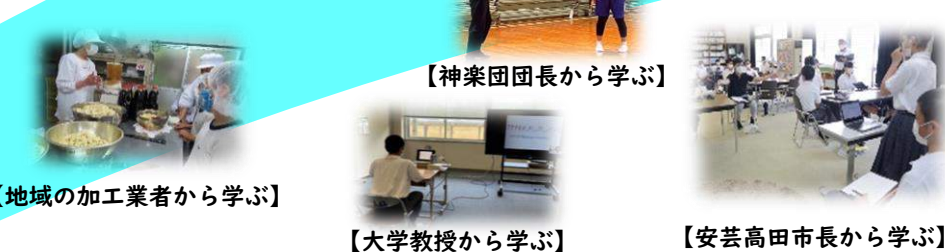
## 2年次 もっと深めるには?

「インターネットの他に何で調べたらいいの!」「一人ひとりの課題に沿ったコーチングが難しい。」

### ■多様な情報収集の方法を提示



### ■専門家などの外部連携



## 3年次 もっともっと深めるには?

「問いが思いつかない。」「この調べ方でいいのかな。」「一人ひとりの課題に沿ったコーチングが難しい。」「探究が深まらない。」

### ■「誰かのために」を推奨

中学校では、「社会のために」「誰かのために」なることを意識する

### ■気づきや問いをもつために豊かな体験学習



### ■広い視野をもち、発想を広げる校外学習

【プロスポーツチームへの訪問】

## 「子どもの声を聴き 思いを引き出す」みんなで コーチング

コーチングとは、「子どもの思いや考えを丁寧に聴いて引き出す」ことです。誰でも支援ができるように、子どもたちの活動計画に対する活動状況等を「進捗確認シート」にまとめ、職員で共有できるようにしています。また、子ども同士の「学び合い」を活用し、質問やアドバイスをし合ったりする機会も設けています。質問やアドバイスをされることで、調べた情報や仮説との整合性など、自分の探究を振り返ることにつながっています。

どうしてこう考えたの?

中学生からアドバイスもらったよ。

問いと仮説が繋がっていないから、見直してみたら?

### 【成果 (○) 課題 (●)】

- 客観的な根拠が増えてきた。
- 解決できる課題が増えてきた。
- 小学生では、問いがなかなか浮かばないことがあった。
- 発想が広がらないことがあった。

様々な情報を取り入れて、より明確に分かりやすく伝えていきたい。

調べたりまとめたりすることができるようになってきた。

### 【成果 (○) 課題 (●)】

- 主体的に情報を集める姿が多く見られた。
- 発想や視野が広がり、社会的なテーマが増えた。
- 振り返りを充実し、スパイラルな探究にすること

### 【社会のためにつながるテーマ】

- ・日本に来た外国の人が、日本になじむために知っておきたいことは?
- ・最も効果のあるメンタルトレーニングとは?
- ・飢餓をなくすために、フードロス削減することは有効なのだろうか?

# 資質・能力ルーブリック

論理的思考力	批判的思考力	楽観的思考力
【小学校低学年】 自分の考えを理由をつけて、順序よく伝えている。	【小学校低学年】 伝え合うために必要な事柄を選んでいる。	【小学校低学年】 興味・関心をもち、挑戦しようとする。
【小学校中学年】 身の回りにある課題に気付き、理由や事例をもとに筋道立てて伝えている。	【小学校中学年】 比較・分類して伝え合う事柄を選んでいる。	【小学校中学年】 自分で決めたことに挑戦しようとする。
【小学校高学年・中学校1年生】 現状から原因を見つけ、自分の考えや思いを広げ、伝えている。	【小学校高学年・中学校1年生】 分類したり関係づけたりして伝え合う内容を検討している。	【小学校高学年・中学校1年生】 失敗をおそれず、積極的に学びを繰り返そうとする。
【中学校2・3年生】 課題に対して、明確な根拠をもって思考・発言している。	【中学校2・3年生】 集めた情報を適切に取捨選択している。	【中学校2・3年生】 成功までのプロセスをイメージし、まずはやってみようとして挑戦している。

## 子どもたちの振り返り

【小学校】	【中学校】
<b>【論理的思考力】</b> 中学生が、テーマと問いと仮説が繋がっていないよと教えてくれたので見直してみたい。	<b>【論理的思考力】</b> 自分だけでは根拠が弱いので、友達や家族に実験してもらった。
<b>【批判的思考力】</b> インターネットで調べたことが、本当にそうなるか、試すのが大事だと思った。	<b>【批判的思考力】</b> 自分がやったことの何が良くて、何が悪かったのか常に考えることができた。
<b>【楽観的思考力】</b> アンケートや実際に作ってみるなど、いろいろな方法で調べてみた。	<b>【楽観的思考力】</b> 失敗した原因やどうしたらいいかを考えることが大事だ。

## PBLをうまくやるための中学生からのアドバイス

【テーマはどうやって決めたらいいの？】

- ・「誰かのためになる」を大切に。 ・ネットに答えが書いてあることはダメ。

【どんな活動をしたらいいの？】

- ・最初の情報収集をしっかりと行う。タブレットを利用する。
- ・専門家へのインタビューを行う。 ・できるだけ多くの人にアンケートをとる。
- ・実験（実際にやってみた）を多くやってみる。回数を増やす。
- ・「スパイラル」な活動にする。

スパイラルとは ①仮説を立てる ②取材する ③実験する ④実験結果から次の仮説を立てる ⑤取材する ⑥実験するのよう繰り返し(②~④)ながら考えを進めていくこと

【どんな表現方法が効果的なの？】

- ・実験したときの失敗から学ぶ。失敗した原因やどうしたらよいかを考える。
- ・ネットに頼らない ・自分で実際にやってみる。
- ・夏休みをしっかりと有効に使って、実験をしたり取材をしたりする。
- ・図や表、グラフをできるだけ多く使う。 ・写真やイラストを多く使う。
- ・動画を貼る。 ・具体的な数字を示す。 ・キーワードでまとめる。
- ・インタビューした人やその会社の情報を調べてきちんと書く。

## こんなPBLがありました 【小学校】

手荒れが楽になる方法とは？

**問いを立てる**

冬になると手が荒れて困っていました。どうしたら手荒れが楽になるかなと思い、調べことにしました。

**情報収集・整理・分析**

調査方法の整理

- ①手荒れが楽になる方法を調べる
- ②必要なものを用意
- ③実際にやってみる
- ④1週間前と1週間後の手の様子を比較



**実験**

- 「薬をぬる」「保湿剤をぬる」「手袋をつけて保湿」
- 実験前後の状態を写真で撮る

**考えをまとめる**

【中間発表】子ども同士でアドバイスし合う。

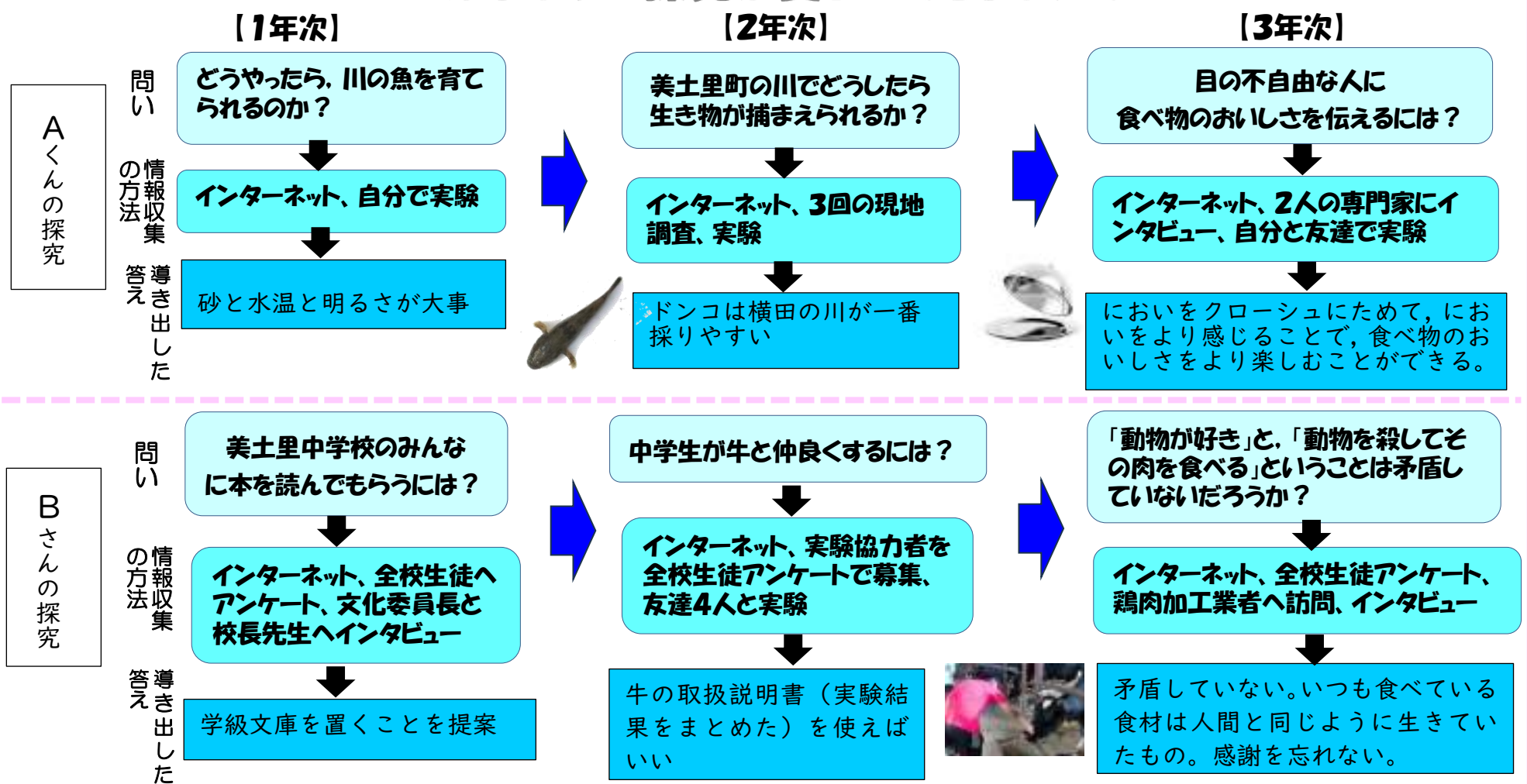
**解決策を提案する**

【発表会】友達、保護者に提案、発表する。

**実験結果の整理**

- 実験前と実験後の写真を比較

## こんなふうに探究が変わってきました！ 【中学校】



## こんな問いが出てきました

- |   |  |   |   |
|---|--|---|---|
| 【小学校5年生】<br>・静電気が起こらないようにするには？<br>・究極の卵焼きをつくるには？<br>・よくはねるスーパーボールを作るには？ | 【小学校6年生】<br>・緑茶を克服する方法とは？<br>・どうやったら絵が上手になるのか？<br>・小学生でもできる早くて栄養がある料理とは？ | 【中学校1年生・2年生】<br>・どうすれば集中力を上げて、勉強に集中できるようになるのか？<br>・神楽を広めるためには、どうしたらよいのだろうか。 | 【中学校3年生】<br>・日本全土の中学生の親へ贈る、思春期・反抗期の中学生取扱方法は？<br>・日本に来た外国人が日本になじむために知っておきたいことは？<br>~日本を訪れる外国人のために~ |
|---|--|---|---|



# 加計小学校 第3学年 「野さい農家ちょうさい」

## ゴールイメージ

・校長先生からのミッション「大人も子供も丸ごとハッピー」を実現するために、学んだことを生かして何ができるかを考えることができる。その過程で教科の学びを生かすことができる。

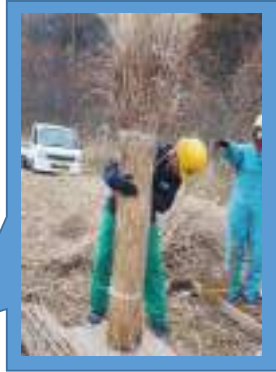
もどめる やりぬく 考える

	① 地域の野菜作りについて知ろう！（1学期）	② 野菜作りの思いを知って発信しよう！（2学期）	③ 自分たちができることを考えよう！（3学期）
課題の設定	<p>社会科との関連</p> <p>「市の様子」の学習で地図を見て安芸太田町には田畑がたくさんあることに気づく</p> <p>↓</p> <p>「どんな人がどんな風に野菜を作っているのかな？」</p>	<p>野菜を作ると言っても、趣味と仕事があるんだ！</p> <p>「野菜づくりを仕事にしている人はどんな思いで作っているのか調べて新聞でみんなに伝えよう。」</p> <p>そういえば、話を聞いた農家さんの野菜がお店に売っていたよ。お店の人に話を聞くのもいいんじゃない？</p>	<p>大人も子供もまるごとハッピーになるためには…？</p> <p>「自分たちができることは何かかな？」</p>
情報の収集	<p>これまでの経験（生活科）から知っている農家の方へインタビューする</p> <p>内容 野菜の育て方、種類、育てるときに困っていること など</p> <p>調べたい野菜農家さんのチームに分かれて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電話で依頼する</li> <li>・質問を考える</li> </ul> <p>野菜を育てている〇〇さんのおじいさんに聞いてみよう！</p> <p>1年生や2年生のころに野菜の収穫をさせてもらった方や野菜作りのコツを教えて下さった方</p> <p>農家さんとさつまいもの苗植え体験</p> <p>地域の方との連携</p> <p>さつまいもを大きくしたければ縦に植える。たくさん収穫したければ横植えるんだよ。</p> <p>社会科との関連</p> <p>僕は、縦植えて、大きくする！できるのが楽しみだな。</p>	<p>スーパーの野菜売り場を見学したり、作る人や販売している人へインタビューをしたりする</p> <p>内容 どんなものを売っているのか、どんな思いで売っているのか</p> <p>農家の方からの手紙には、野菜をたくさん食べて欲しいという思いがたくさん書いてあった</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・質問内容の吟味する</li> <li>・聞き忘れたことは手紙で質問する</li> <li>・メモを取りながら聞く</li> </ul> <p>フレスタの人は、お客様のためにいろいろな工夫をしているんだな。</p> <p>安芸太田町のものがたくさんある！おいしいなあ！</p> <p>さつまいもの収穫</p> <p>近くで祇園坊柿がたくさんなっていたよ。</p> <p>大きく育った！嬉しい！</p>	<p>これまでの学習をふりかえり、売る人、買う人、作る人の思いが重なる部分を見つけ出す</p> <p>〈ベン図〉</p> <p>売る人も買う人も作る人もみんなおいしく食べたい（食べて欲しい）と思っている！</p> <p>野菜を使ったお菓子を作って配ろう！</p> <p>これまでに教えてもらった野菜を使って作りたいな。</p>
整理・分析	<p>学んだことをYチャートを使って「分かった」「気づいた」「？」で分類する</p> <p>野菜を育てるのはとても大変。（動物や虫など）</p> <p>野菜を作る人は、たくさん工夫をしている。</p>	<p>学んだことをYチャートでまとめる</p> <p>野菜を作る人たちのたくさん食べて欲しいという思いが分かった。</p> <p>野菜を作る人も売る人もお客様のために工夫をしていた。</p>	<p>どのようにふるまうのか考える</p> <p>お世話になった方に、学校に来てもらって学んだことを伝えて、お菓子も食べてもらおう！</p>
まとめ・表現	<p>整理分析したことを国語で学んだ報告する文章の書き方を使ってまとめる</p> <p>・校内の児童や先生に向けて</p> <p>・分かりやすく伝えるために</p> <p>国語科との関連</p> <p>新しい気づき</p> <p>野菜を作ると言っても趣味と仕事があるんだ！</p> <p>気づきが②の単元へつづく</p>	<p>新聞にしてまとめる</p> <p>たくさんの人に読んでもらいたいな。</p> <p>国語科との関連</p> <p>社会科との関連</p> <p>・伝える相手は？</p> <p>・どんなことを伝えようか</p> <p>お世話になった場所や校内へ掲示</p> <p>いよいよ③丸ごとハッピーへ向けて動き出す</p>	<p>お世話になった方をまねいて自分たちで作ったお菓子をふるまう</p> <p>お世話になった人だけでなく学校のHPや学校メールを使って保護者や一般の人へ発信</p>

令和3～5年度

探究的な学習の在り方に関する研究推進地域事業

児童生徒自らが探究する生活科・総合的な学習の時間の創造  
～ループリックをもとにした単元のブラッシュアップと評価を通して～



北広島町立芸北中学校区

北広島町立芸北小学校 & 北広島町立芸北中学校



☆ぜひ、こちらもご覧ください☆

- ・単元の系統図
  - ・資質・能力(めざす子供の姿)の系統表
  - ・ループリック
- 中学校・・・全学年共通  
小学校・・・6年「芸北での学びを生かして～Youは何する芸北で～」

教室は私たちの町

自然

地域の人の  
思い

文化

産業

受け継がれて  
きた技



地域に飛び出してダイナミックな体験活動をしています

—より良い自分の探究—

「めざす自分」になるためにチャレンジする。



芸北小中学校「学びのスタイル」

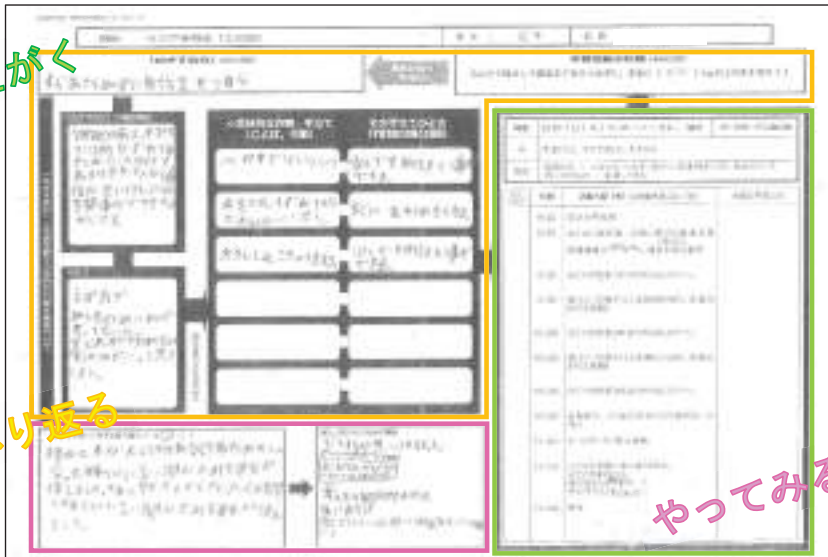


「めざす自分」になる（近づく）ことができたかを振り返り、その理由（原因）を考えて次の活動に生かす。

今の自分を見つめ、活動を通して「めざす自分」とその理由、予想される「妨げ」とそれを乗り越えるための「作戦」を考える。

☆負荷を大きくして同じ活動を繰り返す。

「学びのスタイル」に沿ったワークシート



その1 失敗から学ばせる

「妨げ」（少し頑張れば乗り越えられる心の負荷）を、2回目、3回目と徐々に大きくする。

中1「目指せ！芸北ジュニアトレッキングガイド」  
中学生がガイドになり、八幡の豊かな自然を案内する。

やってみる①

昨年度まで一緒に過ごしていた小学生にガイド

大きな声で説明できなかった。  
(不安、緊張)



やってみる②③

初対面の一般参加者にガイド

準備していた知識だけを話し、お客さんを楽しませるような話ができなかった。(不安、緊張)



—児童生徒自らが探究する学習のために—

試しの体験（1回目）は、敢えて失敗させることで児童生徒のやる気に火をつける。

小5「協力して活動しよう～せどやま教室～」

「せどやま再生事業」という地域事業のうち、山から木を運び出して、市場で「せどやま券」という地域通貨に替えてもらう活動を行う。

やってみる①

とにかくやってみる→失敗

くやしい！次はもっとたくさん木を運ぶぞ！！



やってみる②③

前回の振り返りをもとに次の目標と作戦を立て、やってみる

安全に力を合わせるために、大きな声で声をかけ合おう。

目標達成ならず・・・  
いくよ！  
せーの！



その2 地域の人材活用

その道のプロをゲストティーチャーとして迎える。  
(山の匠、芸北高原の自然館学芸員、NPO 西中国山地自然史研究会、芸北トレッキングガイドの会等)

児童生徒の方から、必要な時にゲストティーチャーに相談できる環境を整える。

中2「芸北茅プロジェクト」

茅（スキ）を地域資源として生かすことで地域の活性化につなげる。

茅刈り職人の方を招いて講習会を行う。



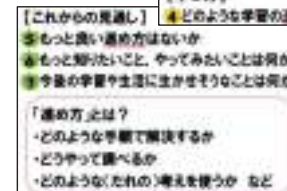
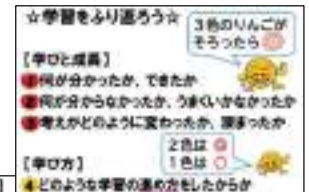
小6「芸北での学びを生かして～Youは何する芸北で？～」  
芸北をより良くするために自分たちにできることを考えて提案し、実行する。

コワーキングスペース（学校の空き教室）で仕事中のゲストティーチャーに、プロジェクトの内容についてアドバイスをもらいに行く。



その3 自己を見つめさせる振り返り

- ◇活動に参加する職員が活動前に評価の視点を共有する。→活動中に写真撮影と評価のメモをする。→活動後に児童生徒それぞれの良さや課題を共有する。
- ◇児童にふり返りの視点を提示する。
- ◇活動後すぐにふり返りを書かせる。
- ◇ふり返りが不十分な部分は、写真を見せたり、客観的な意見を示したりしてメタ認知させる。(職員、ゲストティーチャー、保護者サポーター、他の児童生徒、参加者アンケート)





実践例①生活科 第1学年

## ねんちょうじさんと なかよくなろう

★年長児さんとなかよくなろう!(第1回交流会・6月)

地域の幼稚園・保育園の年長児さんとなかよくなるために、ダンスやゲームなどいろいろな遊びを計画しました。でも…

**びっくり** 緊張してうまく話せなかったよ。もっとなかよくなるためには、年長児さんとゆっくりかかわりあう時間が必要かも。


★年長児さんともっとなかよくなろう!(第2回交流会・11月)

どんぐりやまつぼっくりで作ったおもちゃで秋まつりを開催!しっかりとかわることができ、前よりなかよくなることができました。でも、交流会後に年長児さんや先生方にインタビューをしてみると…

**びっくり** 年長児さんは、小学校に対して不安な気持ちもあるみたい。小学校は楽しいよ。入学を楽しみにしてもらいたいなあ。

★年長児さんに小学校のことを教えてあげよう!(第3回交流会・1月)

年長児さんとしっかりとかわりながら、小学校への不安を取り除いてあげられるように学級間で協力して、学校探検や小学生体験を計画し、実施しました。1年生、年長児さんともに大満足の楽しい交流会になりました。春にまた会えるのが楽しみだね。



実践例②総合的な学習の時間 第4学年

## テングソースの魅力発見!⇒魅力発信! ~みんなてつなく地域の宝~

**どっきり** ソースの味くらべをしてみると…地域にこんなにおいしいソースがあったなんて知らなかった!もっと調べてみたい!


★テングソースの魅力発見!(本やインターネットを活用した調べ学習・中間醸造の方とのリモート授業)

自分たちで調べたり、テングソースをつくっている中間醸造の方のお話を聞いたりして、ソースづくりの工夫や努力を知りました。

**びっくり** 伝統の味を守るため、苦勞をしながらこだわりのソースづくりを続けられているんだ!みんなにも知ってもらいたい!

★テングソースの魅力発信!(チラシ・動画を作成して情報の発信)

家でも見られる情報としてチラシ、その場で得られる情報として動画を作成することになりました。グループに分かれて、対象や発信場所を決め、それぞれ作成!完成したチラシは地域や他市町の販売店へ、動画は校内で披露し、学校のHPに掲載。テングソースのおいしさや中間醸造の方の思いがたくさんの人に伝わりますように。



実践例③総合的な学習の時間 第5学年

## めざせ!三原のタコ博士!⇒守れ!三原やっさタコ!

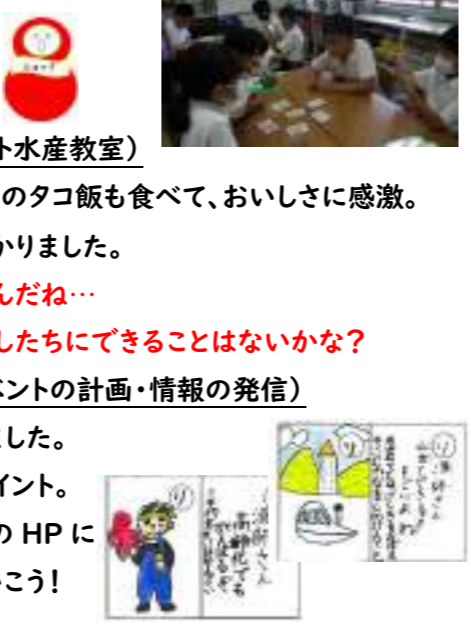
★めざせ!三原のタコ博士!(本、インターネット、新聞や動画等を活用した調べ学習・リモート水産教室)

地域の特産品「三原やっさタコ」について、本やインターネットで調べてみました。できたてのタコ飯も食べて、おいしさに感激。でも、漁師さんに詳しく話を聞いてみると…三原のタコは近年漁獲量が減っていることが分かりました。

**がっかり** 去年ニュースや新聞で見たから予感ではいたけど、今年も状況は変わらないんだね…  
こんなにおいしい「三原やっさタコ」がこのままとれなくなったらどうしよう。わたしたちにできることはないかな?

★守れ!三原やっさタコ!~タコかるたで魅力や危機を伝えよう~(タコかるたを作成してイベントの計画・情報の発信)

楽しく遊びながらタコの知識や情報を得ることができる手段として、かるたづくりに挑戦しました。同じ平仮名の読み札が複数あり、読み札の内容をよく聞いて内容に合う絵札を探すのがポイント。校内の児童に楽しんでもらえるイベントを開催したり、だれでも楽しんでもらえるように学校のHPにタコかるたのダウンロードのページをつくらせました。三原やっさタコをみんなで守っていこう!



令和3年度~令和5年度  
探究的な学習の在り方に関する研究推進地域事業

# 三原だるまプラン

## ~ちょっと好き からの もっと好き~



## 三原市立第二中学校区

三原市立第二中学校 ♡ 三原市立三原小学校 ♡ 三原市立中之町小学校

三原市立深小学校 ♡ 三原市立鷺浦小学校

# やってみよう! 三原だるまプラン

「ショック」を通して、探究テーマや地域への「好き」を深めていく二中校区版 PBL



## ポイント その1 目標の具体化・成長の可視化! みんなで考えた「ルーブリック評価」

学校で設定した資質・能力が育成された姿を明確にし、全員で共有するため、教師と児童・生徒で話し合っテルーブリック(2段階)を作成します。児童・生徒の実態に応じて定期的に修正・更新を行います。

ちょっと好き

- ①探究テーマ設定
- ②仮の探究課題設定
- ③学習の計画
- ④ルーブリック設定
- ⑤探究

もっと好き

⑥ショック

- ⑦真の探究課題設定  
※必要に応じて  
ルーブリック修正
- ⑧探究
- ⑨まとめ・表現(評価)

ずっと好き

三原だるまプランをもっと詳しく  
知りたい方は、こちらへどうぞ♪



三原小学校 HP

## ポイント その2 探究課題の自分ごと化! ショックから思いを引き出す「課題の更新」

まずは、児童・生徒の興味・関心に応じて仮の探究課題で学習を始めます。学習の中で「ショック」に出合わせ児童・生徒の思いを引き出し、真の探究課題を設定します。学びを促進する「ショック」は3タイプ!

未知の事実との出会い  
どっきりタイプ

予想と現実のずれへの気づき  
びっくりタイプ

予想通りだけど残念  
がっかりタイプ

### ●だるまプランの仲間たち●

ショック1発型



ショック多発型



ショックいきなり型



ショックいきなり多発型



3つの視点から探究的な学習が実現しそうな  
地域の題材や探究テーマを設定! 児童・生徒の実態、教師の願いをふまえて  
育成を図る資質・能力の「学校ルーブリック」を作成!



みんながわくわくする  
単元をつくるぞお~



※ルーブリックの詳細は三原小学校 HP へ

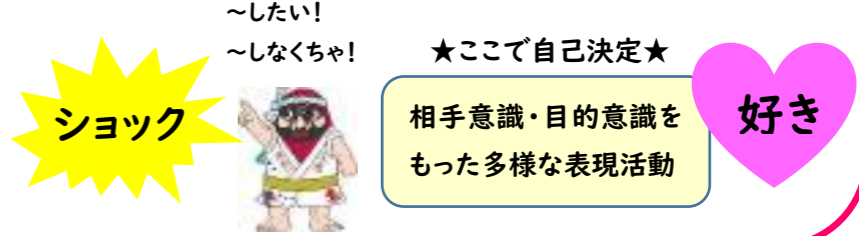
児童・生徒と話し合い、  
「子どもルーブリック」を作成!



仮の探究課題における活動では「ちょっと好き」!



真の探究課題における活動では「もっと好き」!!

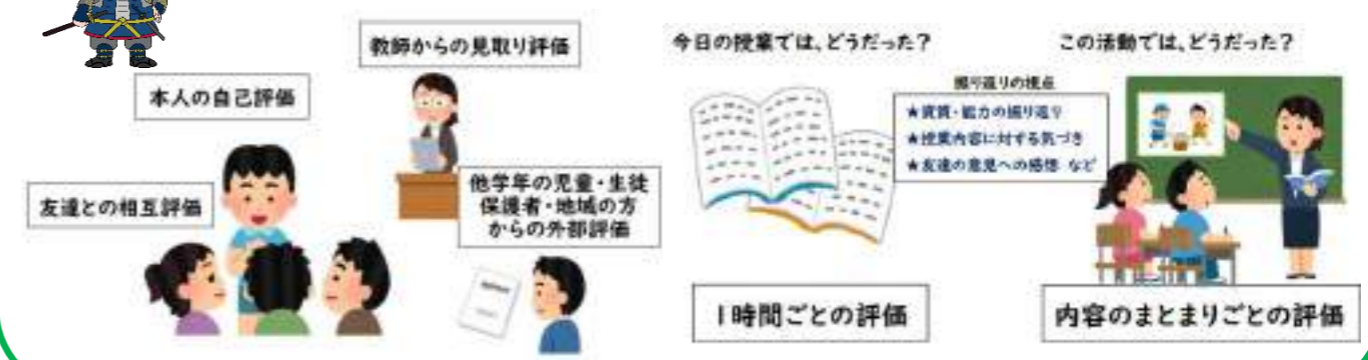


様々な工夫が必要!

方法の工夫

効果的な評価をするために...

内容とタイミングの工夫



★ノート、ワークシート、ポートフォリオや成果物など 評価の積み重ねが大事★

1年間を振り返って、成果と課題を整理し年間指導計画の修正! 次年度へのゆるやかな連携!

次年度への引き継ぎ

次学年への申し送り



# 探究的な学習に取り組む先生方へ

尾道市立長江中学校・尾道市立長江小学校・尾道市立土堂小学校

長江中学校区では、『答えのない問い』に果敢に挑戦し、他者と協働して自分たちなりの価値ある答えを見出す探究的な学習の創造」という研究主題のもと、研究を進めてきました。  
本研究を通して、「教師の敷いたレールを児童生徒になぞらせてはいないか」「本当に児童生徒が主体となって学習に取り組んでいるのか」という課題を克服し、児童生徒が主体となって探究的な学習に取り組むことができる生活科・総合的な学習の時間の単元開発に取り組みました。



尾道市立長江中学校区 探究的な学習推進委員会  
マスコットキャラクター おのにゃん

## 長江中学校区 研究3年間の軌跡

### 研究1年目

- 育成したい資質・能力の整理と評価方法の確立
- 9年間を見据えた生活科・総合的な学習の時間のカリキュラムの研究
- SDGsとPBLの視点を入れた探究的な単元開発・授業づくり

### 研究2年目

- PBLの視点を入れた単元開発
- 各単元における評価基準の整理、精選
- 9年間を見据えた生活科・総合的な学習の時間のカリキュラムの整理・作成

### 研究3年目

- 9年間の関連を意識したカリキュラムの活用と更新
- 資質・能力の評価の在り方  
(ルーブリックの活用と教師によるフィードバック場面)の明確化
- 児童生徒の気づきから学びを深めていくための、PBLの考え方を参考にした単元開発および実践

## 実践Ⅰ 「長江中学校区で共通して育成したい資質・能力」の共有

中学校区の全教職員で、3校の児童生徒の実態や9年間のゴール(中学校3年生の姿)を共有しながら、共通して育成したい資質・能力について話し合いました。資質・能力の発揮された具体的な姿まで共有し、教職員間で共通理解がもてるようにしました。

主体性	協働性
自ら学ぼうと・求めようと・解決しようとし、自分なりの(その時の)最適解をもっている。 自ら課題を見付けたり、解決方法を粘り強く考えたりしている。 自分で目標・課題を設定し、それに対して方略を考え出している。	協働的な活動を通して、求められているゴールに対して最適解を導き出している。 友達の意見を受け止めながら、見付けた課題の様々な解決方法を考えている。 他者の行動をよく観察し、まねるべき点を取り出してまねている。

長江中学校区の教職員で話し合っ  
て設定した共通して  
育成したい資質・能力  
(主体性・協働性)の発揮  
された姿

## 実践Ⅱ 「児童生徒が自己の変容を自覚するためのルーブリック」の活用

児童生徒が、中学校区で設定した資質・能力(主体性・協働性)の高まりを自覚し、形成的評価(授業者の授業改善、学習者の学習改善)へとつなげるためのルーブリック(評価基準表)を作成しました。児童生徒と資質・能力の発揮された具体的な姿などを共有し、児童生徒の言葉に直したルーブリックを作成しました。振り返り場面で活用し、学習計画の修正など、授業づくりにつなげました。

資質・能力		評価	
		B	A
小学校 第6学年 「BKG(防災・交通安全・ゴミ問題)意識変革プロジェクト ~ぼくたちわたしたちに 今できること~」	主体性 ・ 協働性	・知りたいことや疑問、課題を見つけようとしている。 ・課題を解決するための方法を考えようとしている。 ・友達と自分の考えを比べ、自分の考えをよりよいものにしようとしている。	・粘り強く課題を見つけようとしている。 ・粘り強く課題を解決するための方法を考えようとしていたりしている。 ・友達や自分の考えのよさを生かし、課題を解決するために納得できる答えを見つけようとしている。

## 実践Ⅲ 「長江中学校区 生活科・総合的な学習の時間カリキュラムレコード」の活用

カリキュラムの縦の関連性(学年間の関連性)を意識できるように、小学校1年生から中学校3年生までのような探究課題に触れて学びを進めているのか、学びの足跡を整理しました。それぞれの学年だけの学習内容ではなく9年間の学習を関連付けながら視点を広げて探究的な学びを創造するために活用しました。

教科書がなく地域ごとの特性や児童生徒の実態を生かして単元づくりが進められる総合的な学習の時間において、次年度への引き継ぎに活用し、新しく転任してきた先生などでも、少しでも見通しをもって単元開発に取り組むことができるツールとして使っています。



## 実践Ⅳ 「長江中学校区 PBL を意識した単元開発のポイント」の整理と共有

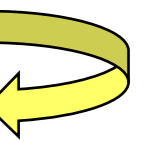
児童生徒が「答えのない問い」に主体的・協働的に取り組むことができるよう、単元開発のポイントを大きく4つに整理し、どの学年・学級でもポイントを意識して授業づくりができるようにしました。

- 1 児童生徒が自分事として考えることができるテーマの設定
- 2 児童生徒と共有、調整していく単元計画の作成
- 3 多様な視点、新しい課題に気付かせるショック(新たな「えっ!?なぜ?」)の場面の設定
- 4 多様な視点、考え方(実生活・実社会)に触れさせるための地域人材の活用

児童と作成し、振り返り、授業づくりに活用したルーブリック



具体的な授業実践は裏面へ



長江中学校 第2学年

「人は何のために働くのか～職場体験学習を通して～」

課題設定

働く上で重視することをテーマに話し合い活動をする中で、今の自分が思い描く将来と、実際に働くとはどんなことかを結びつけて考えながら、「人は何のために働くのか、働くためには何が必要なのか」という課題を生徒自身が見出していった。



情報収集

課題解決に向けての情報収集として、尾道の企業について調べたり、尾道商業高校から講師を招いて講習を受けたりした。さらに、地元尾道の事業所で職業体験をさせてもらう中で、知りたいことを調査したり、働いている人にインタビューを行ったりした。



整理・分析

事業所で働いてみて自分が感じたことや、インタビューをする中で分かったことなどを学級の仲間に伝えたり、仲間の体験を聴いたりしながら、働く意義や働くために必要なことを見つめ直した。



まとめ・表現

学級の仲間や事業者の方からの意見を参考にしながら、ポスターを製作した。完成後は学級で発表を行い、お互いに評価し合った。代表者が文化祭で発表したり、完成したポスターを事業所に送ったりするなど、自分たちが学習したことを発信した。



生徒からは、「体験したことや仲間と情報共有したことを通して、働くことについて意識が深まった」「将来の仕事について今の自分とつなげて考えることができた」という振り返りがあった。



長江小学校 第6学年

「BKG（防災・交通安全・ゴミ問題）意識変革プロジェクト～ぼくたちわたしたちに今できること～」

課題設定

これまでの学習や生活経験を振り返り、6年生として取り組む課題を児童自身が考え、話し合いながら決定していった。

「尾道」を住んでいる人にとってよりよい町にしたいという大きな課題を設定した。



情報収集、整理・分析

交通安全指導員、警察署の方、公民館館長など、様々な立場の方から尾道住民の抱える課題に関する情報を集めた。

尾道住民にとって、防災・交通安全・ゴミ問題が関心の高い課題であることが分かった。



情報収集

3つのテーマ「B 防災・K 交通安全・G ゴミ問題」を設定し、それぞれの課題の解決方法を考えるために、課題の要因や他市町の取組について調べることにした。



整理・分析

集めた情報を整理していく中で、どの課題についても「自分事では考えられない」という、「意識」に問題があるという共通点を見つけた。例えば、防災に関しては「自分は大丈夫」と考えてしまう正常性バイアスが働いてしまうことが分かり、一人一人の「意識」変える方法を考えることになった。



まとめ・表現

3つのテーマについて、まずは、在校生の「意識」を高めるための講習会を実施した。

振り返りで、在校生の反応から手応えは感じたものの、尾道全体に広げるためには別の方法を考える必要があるのではないかと意見が生まれ、継続して課題解決に取り組むことになった。

土堂小学校 第6学年

「太鼓で笑顔 盛り上げ大作戦」

課題設定

自分たちにとって「総合的な学習の時間」とは何かを全員で振り返り、「地域をより良くする活動である」と考えた。そこで「尾道の課題は何なのか」という疑問をもち、まずは課題を探るところからスタートした。



情報収集、整理・分析

公民館館長、社会福祉協議会の方にインタビューをして、いくつか課題が見えてきた。しかし、地域の人にはどの課題を一番解決してほしいと思っているのか分からないので、実際に地域に出てアンケートを行った。



整理・分析

アンケートの結果、「土堂っ子太鼓で地域を元気にしてほしい」「地域の人同士のつながりをもっともてるようにしたい」という思いがあることが分かった。そこで、探究テーマを「太鼓で笑顔 盛り上げ大作戦」とし、地域の方との交流会を開くことになった。



整理・分析

遊びのブースを作って地域の方に回ってもらうことで、地域の人同士で関わり、つながりがもてるのではないかと考え、計画・準備を行った。また、下級生とリハーサルを行い、気付いた点などのアドバイスをもらい、改善を重ねた。

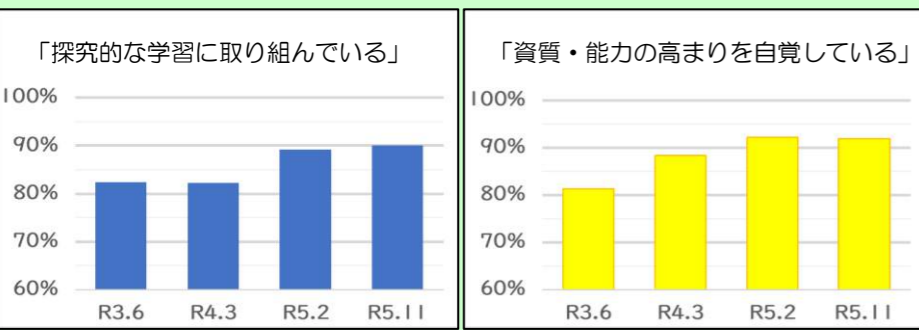


まとめ・表現

地域の方に呼びかけて、交流会を開催した。ブースごとの遊びや太鼓で地域の人同士の交流、地域の人と子供たちの交流をすることができた。これらの活動を継続的に行うために、活動の反省を下級生に伝える方法も考えた。



児童生徒の変容



○自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するという探究のプロセスを意識して学習に取り組むことができると実感した児童生徒の割合が増え、学習者主体の学びにつながっています。  
○効果的な学習場面の設定やルーブリックを使った振り返りを通して、資質・能力（主体性・協働性）に高まりを自覚する児童生徒の割合が増えています。

研究を通しての教員の声

児童が選択したり決定したりする機会を増やせば、主体的・協働的に学べると感じた。

教科横断的なカリキュラム・マネジメントの視点をもつことができ、特に担当している国語との学びをつなげることができた。

正直、4年前より総合的な学習の時間の授業に対する不安感が強くなった。でも、それは総合について分かることが多くなってきたからこそ、出来ていない部分が見えてきたのだと思う。自分も子供たちも楽しいと思うことができるような総合的な学習の時間を探究していきたい。

学習活動が探究的な授業になっていくためには、「目的意識」「相手意識」が明確でなければならないことを教職員全員で理解できた。

職員同士で総合的な学習の時間に関する悩み事や授業中の子供たちの様子について話すことが増えた。

学習を通して、地域と児童のかかわりが増えた。児童も自分の地域により関心をもてるようになったし、地域の方々も学校に関心をもってくださる方が増えた。





# PBL(プロジェクト型学習)の考え方を参考にした、

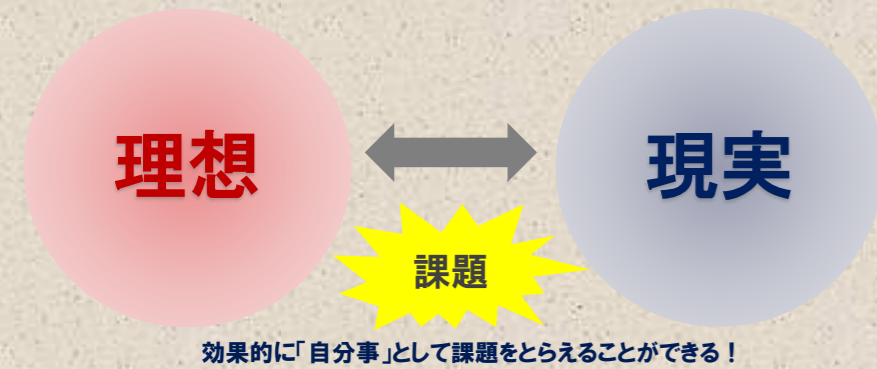
## 総合的な学習の時間の単元開発・改善・実践

### 本校の課題

学習が活動主義であったり、課題との出会わせ方の工夫が不十分であったりしたため、課題設定が児童生徒主体になっていないことでした。そのため、課題を自分事としてとらえることができず、真の探究的な学習になっていないという課題がありました。

### 本校の課題を解決するために取り入れた3つのコト

#### ① 「理想」と「現実」のズレから課題を見つけ出す



#### ② 設定した課題の解決が図れたかの「検証」の視点を取り入れる



活動をしたり調べたりしたことを発表して終わりにするのではなく、自分たちが設定した課題は達成できたかどうか？検証する！

#### ③ 「教師主導」ではなく、教師はファシリテーターになる

▲想定外の考えが出たら…。  
方向性を修正することができるのか不安。  
→児童に委ねられない。

▲児童の発言を待たず、教師が考えた流れに最短距離で誘導したり、提案したりして引っ張ってしまう。  
→教師主導の授業。

▲教師の指示がないと、グループでの情報交流が進まない。  
→「次、何したらいいん？」という発言が聞こえる。さらに知りたいことが出ていない。

#### 【教員の意識改革】

- ・先生と一緒に学習を進めていく仲間の一人。
- ・先生の考えが正しい、よりよい答えとは限らない。
- ・想定外の展開があってもいいと考える。
- ・試行錯誤しながら進むことが総合の面白さ！

#### 【振り返りを充実させる】

- ①学んだこと・分かったこと・できたこと
- ②難しかったこと
- ③友達からの学び
- ④次の時間にすること

#### 【話し合うプロセスを明示する】

- ①何のために(目的)
- ②何を(情報)
- ③どのように話し合い
- ④どんなゴール(成果)を目指すのか

#### 【毎時間の課題設定を意識する】

- ・何を？
- ・何のために？
- ・方法は？
- ・時間は何分必要？

第6学年 カテゴリ『歴史』

「備後国府」遺跡発掘プロジェクト ～府中の宝を未来へつなごう！広がる輪！～

### 【単元の目標】

備後国府跡の発掘調査に関わったり、備後国府の歴史や文化の伝承に向けた取組を行ったりすることを通して、自分が住む地域で生まれ受け継がれてきた歴史や文化を理解し、その伝承に取り組む人々の思いや願いに気づき、その伝承を願って地域の一人としてできることを考えるとともに、自らの生活や行動に生かすことができるようにする。

#### 小単元①「私たちが府中市のためにできることは？」



年度当初に府中市教育政策課文化財室から、本校近くにある備後国府跡について、発掘調査の連携や史跡公園の設置協力のよびかけを受けていました。そのため、総合的な学習の時間では発掘調査を行ったり備後国府について調べたりする導入学習を行いました。

#### 小単元②「府中市のルーツを探ろう」



いざ課題の設定場面になってみると、これまでの学習が外部からの呼びかけや、体験中心の学習で活動主義になってしまっており、課題が「自分事」になっていないことに気づきました。

このことに危機感を感じた学年教員は、「自分事」として課題を発見するため、「理想」と「現実」のズレから課題をとらえさせることにしました。



自分たちが探究しようとする課題である「備後国府跡」がランキングに入っていないという事実子どもたちは衝撃を受け、強い課題意識をもつことができました。

#### 小単元③「『備後国府』史跡を広めよう」



単元のまとめでは、府中市役所の会議で備後国府遺跡の公園計画をプレゼンすることができました。

校内でも公園計画をプレゼンし、府中市に関するアンケートで備後国府の事を知らないという回答していた7・8年生に、自分たちの取組がどのくらい伝わったのかを検証したところ、9割以上の肯定的回答を得られました。

カテゴリ『府中市にある人・もの・コト』  
第3学年 味噌作り体験



カテゴリ『環境』  
第4学年 ゴミの分解体験



カテゴリ『食』  
第5学年 ごぼうの種まき



カテゴリ『SDGs』  
第7学年 17の達成目標調べ



カテゴリ『個人研究』  
第9学年 卒業論文発表会



第8学年 カテゴリ『キャリア』

「働くとは何か」～働く人の思いや願いを掴み取れ！～

### 【単元の目標】

働く人々の思いや願いに出会う中で課題を見つけ探究することを通して、自らが社会で働く意義を理解するためには、一人一人が責任を自覚し、お互いに協力し合うことが大切であることに気づき、自分も社会の一員として社会のために進んで行動しようとするようにする。

#### 小単元①「働くとは何か？」



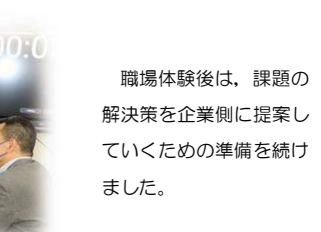
すでに探究型職場体験を実施していた鳥取県の青翔開智学園を視察し、「理想」と「現実」のズレ(ギャップ)から課題を設定するという手法を学び、この手法を第8学年の「キャリア体験学習」に応用することにしました。課題発見のやり方を学ぶため、第8学年の「理想」と「現実」のズレから課題を発見してみる演習も行いました。

#### 小単元②「実際に働いてみよう！」

生徒は事前に職場体験先の「理想」をしらべ、3日間の体験期間中で体験先の「課題」を見付け出しました。



#### 小単元③「事業所の課題を見つけ、解決策を提案しよう」



最終的に、体験先の事業所の代表者の方に課題の解決策を提案し、評価していただくという検証を行いました。

どの代表者の方にも、「自分たちにはない発想があった」と「中学生という視点ながら、大変会社のためになる良い提案をしてくれた」と非常に良い評価をいただきました。

## 様々な活動が、各学年の特色ある学習を創り出しています！

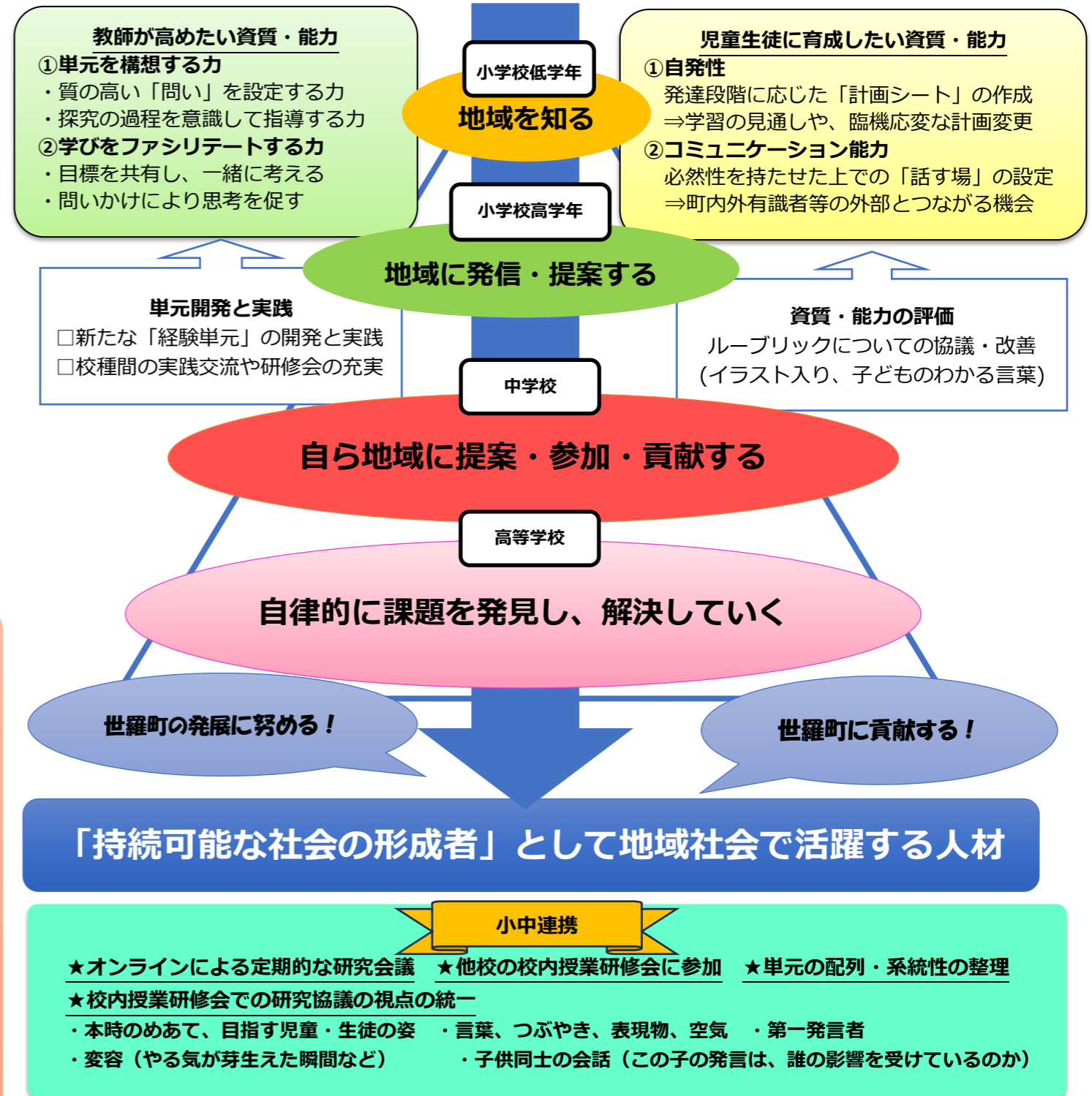
# 世羅町立甲山中学校区

## 研究主題

地域の未来を見据え、探究的に学習する児童・生徒の育成  
— 経験単元の開発・実践と評価の工夫を通して —

本質的な問い「世羅をもっと元気にするためには？」

指導方針「信頼して、任せて、待って、支える」



## 探究のサイクルに基づいた経験単元の開発

### ★経験単元の捉え

活動を中心に

資質・能力の育成

成果

興味・関心に基づいた活動

途中で壁や障害にぶつかる

児童・生徒の興味関心

### ★単元開発のポイント

#### PBLの視点

- ★1つの解のない問いを扱う。
- ★実生活・実社会の問いについて考える。
- ★社会に還元できる課題にする。

④実社会・地域への還元

②外部人材の活用

課題の設定

まとめ・表現

情報の収集

整理・分析

③他教科・学校行事との関連

①子ども達の思いや願い

- ①子ども達の思いや願いをスタートに！
- ②外部人材の積極的な活用
- ③カリキュラムマネジメントによる他教科・学校行事との関連
- ④実社会・地域へと学習成果を還元する場の設定

## 資質・能力の育成に向けて

### ★自発性の育成

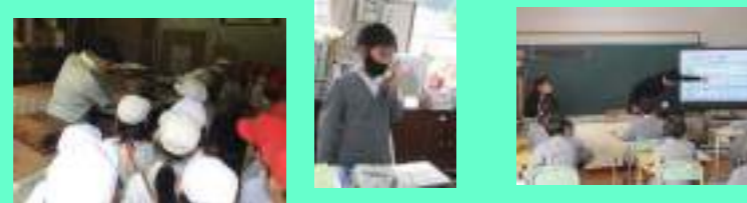
- ・発達段階に応じた計画シートの作成
- 低学年は教師と一緒に

高学年以降はグループで  
中学生はグループ・個人で

学年	計画シート	作成方法	備考
1	1	教師と一緒に作成	
2	2	教師と一緒に作成	
3	3	教師と一緒に作成	
4	4	グループで作成	
5	5	グループで作成	
6	6	個人で作成	

### ★コミュニケーション能力の育成

- ・国語科と関連付けて整理  
「話すこと」「聞くこと」「話し合うこと」
- ・必然性のあるコミュニケーションの場の設定



## 評価の工夫

### ルーブリックの作成（自発性・コミュニケーション能力）

- ・改善を重ね、教師にも子供にも使いやすい形に！
- ・目指す姿が明確になるように！
- ・イラストを使って分かりやすく！
- ・発達段階ごとに整理！

（前学年のA評価が次学年のB評価に）

評価項目	A	B
自発性	自分で課題を設定し、積極的に取り組むことができる。	自分で課題を設定し、積極的に取り組むことができる。
コミュニケーション能力	話し合いを通して、自分の考えを伝え、相手の考えを理解することができる。	話し合いを通して、自分の考えを伝え、相手の考えを理解することができる。

## 探究的な学習の推進を通して

- 【児童・生徒のアンケートより】
- ・自発性の高まりに関する項目の肯定的評価 94%
  - ・コミュニケーション能力の高まりに関する項目の肯定的評価 95%
- 【教師アンケートより】
- ・探究の過程を意識した指導をしているかに関する項目の肯定的評価 96%
  - ・資質・能力の育成を意識した指導をしているかに関する項目の肯定的評価 88%

教師が探究の過程を意識して授業改善を行った結果、児童・生徒が探究のサイクルを意識して学習を進めていく力が高まった。必然性のあるコミュニケーションの場を設定したことが、コミュニケーションの能力の育成につながっていると考えられる。

# 各校の実践事例

## 課題設定

- ・子供の願いを大切にされた課題設定
- ・子供の心に火をつける

## 情報収集

- ・手段を選択しながらの情報収集
- ・必然性のあるコミュニケーション
- ・外部人材の活用

## 整理・分析

- ・視点を明確にした整理・分析

## まとめ・表現

- ・実社会・地域への還元

### せらのすごい野菜を自分たちで育てようプロジェクト！（第2学年）

#### 小学校低学年

<p><b>課題設定</b> 夏野菜を収穫して、クラスの畑が空っぽになったけど、これから畑をどうしたいですか。</p> <p>秋や冬にとれる野菜を育ててみたいわ。何がいいか調べてみよう。</p> <p>夏に育てた野菜は、家に持って帰って家族と食べたよわ。次は、もっと多くの人に食べてもらいたいわ。</p> <p>給食に野菜を使ってもらえたら、たくさんの人に食べてもらえそうだな。</p> <p>・ほうれん草・こまつな ・大根・かぶ・水菜</p> <p>給食に使ってもらえるような野菜を育てるプロジェクトのスタート！</p>	<p><b>情報収集</b> 給食に使ってもらえる野菜はどんな野菜なのかな。野菜がしっかりと育つように、どんなお世話が必要かな。</p> <p><b>栄養教諭にインタビュー</b> 野菜を観察しながら、必要なお世話を調べる</p> <p>給食に使ってもらえる野菜はどんな野菜ですか。給食に使うには、どのくらいの量が必要ですか。</p> <p>JAの方に教えてもらいながら、種植え</p> <p>必然性のあるコミュニケーション 外部人材の活用</p> <p>本やインターネットで調べる</p>	<p><b>整理分析</b> 自分たちのお世話は、うまくいっているかな。困りごとを解決するために、何が必要かな。</p> <p>国語科の「観察名人」で学習した観察シートを振り返る</p> <p>葉っぱが大きくなり野菜があるよ。黄色くなってしまった葉っぱがあるよ。どうすればいいのかな</p> <p>・本・インターネット・インタビュー など収集した情報を付箋を使って、関連付けて整理</p> <p>葉っぱが大きくなり野菜があるよ。黄色くなってしまった葉っぱがあるよ。どうすればいいのかな</p> <p>葉っぱが大きくなり野菜があるよ。黄色くなってしまった葉っぱがあるよ。どうすればいいのかな</p>	<p><b>まとめ表現</b> 給食を食べる人たちに、どんなことを伝えたらよいらう。食べてもらう人に野菜のいいところを伝えたいな。頑張って野菜を作ったことも伝えたいな。</p> <p>給食を食べる人に、お手紙を書いて読んでもらおう！</p> <p>野菜の収穫と贈呈</p> <p>お手紙の作成 実社会・地域への還元</p>
---	---	--	---

### アスパラガスの廃棄量削減プロジェクト！（第5学年）

#### 小学校高学年

<p><b>課題設定</b> アスパラガス農家をもっと元気にするために、自分たちができる行動はなんだろう。</p> <p>学校の近くにあるアスパラガス農家の農家さんを見学したいな！</p> <p>アスパラガス農家さんの話を聞いてみたいわ。</p> <p>アスパラガス農家に質問したいな！</p> <p>アスパラガスの捨てられる量を減らすためのプロジェクトのスタート！</p>	<p><b>情報収集</b> アスパラガスの廃棄量を減らすための取組にはどのようなものがあるのだろうか。</p> <p>アスパラガス産の新聞記事があったよ！</p> <p>ゲストティーチャーにアスパラガス茶やその他の取組を聞く。</p> <p>世羅高校の生徒さんにアスパラガスの食べ方やプロジェクトの進め方についてアドバイスをもらう</p> <p>必然性のあるコミュニケーション 外部人材の活用</p> <p>捨ている部分も食べられることを知ってもらおう！</p>	<p><b>整理分析</b> アスパラガスの廃棄量削減に向け、自分たちができる行動はなんだろう。</p> <p>まずは食べられることを知ってほしい！どうやったらおいしく食べることができるかな。</p> <p>地域の方にアドバイスをもらいながら、おいしく食べることができる方法を検索</p> <p>家庭科との関連を図り、自分で考えたレシピで料理を作る。</p> <p>おいしく食べられる方法を見つけた！</p> <p>でもどうやって広めたいのかな？</p>	<p><b>まとめ表現</b> アスパラガスの廃棄部分を活用したレシピを広めるには、どうしたらよいらう。</p> <p>「だれに」「どんな方法で」伝えると、よりレシピを広めることができるのかな？</p> <p>ケーブルテレビにレシピとアスパラガスの問題をまとめた資料を送る！</p> <p>給食でみんなに食べてもらおう！</p> <p>レシピを紙にまとめて、アスパラガスの捨てた部分と一緒にスーパーで売ってもらおう！</p> <p>実社会・地域への還元 来年度も継続できる取組に！！</p>
---	--	---	---

### 福祉プロジェクト～世羅町の高齢者を元気にしよう～（第1学年）

#### 中学校

<p><b>課題設定</b> 世羅町が抱える問題は何か。高齢者にとって住みやすい町とはどういった町だろう。</p> <p>「世羅町の高齢者のためにできること」について案を出し合い、活動方針を決定しました。</p> <p>高齢者の方と一緒に楽しめる活動がいいな。</p> <p>世羅には魅力がたくさんあるから、世羅の魅力を生かしたいな。</p> <p>世羅の魅力を生かして、ジャンルごとに高齢者の方とできる活動を考えるプロジェクトのスタート！</p>	<p><b>情報収集</b> 世羅町の地域福祉の現状はどのようなものだろうか。高齢者の方は普段の生活でどのような困り感を持っているのだろうか。</p> <p>文献・インターネットでの情報収集</p> <p>インターネットや文献だけでは、情報が十分に集まらないな。</p> <p>自分たちで高齢者の生活を体験してみるの、どうだろう！</p> <p>「高齢者疑似体験キット」で疑似体験</p> <p>普段おじいちゃんおばあちゃんとお生活しているけれど、あまり考えたことがなかった。これからは気にしながら、寄り添っていきたいです。</p>	<p><b>整理分析</b> 福祉体験学習で福祉について新たに学んだことは何だろうか。福祉体験学習で学んだことを何にどう活かしていけばよいか。</p> <p>社会福祉協議会の久保さんから依頼のビデオレター</p> <p>福祉体験を通して学習したことをサロンで活かしてもらえませんか？</p> <p>学習してきたことをサロン訪問に生かしていけるか。整理・分析サロン訪問のリハーサルを行い、課題と成果を整理・分析</p> <p>外部人材からの依頼</p> <p>取組を明確にした整理分析</p>	<p><b>まとめ表現</b> 今まで計画してきた企画を実行するにはどうしたらいいか。サロン訪問を通して学んだことはなんだろうか。</p> <p>サロン訪問を実行</p> <p>振り返り</p> <p>サロン訪問は、「世羅を元気にする」ことにつながったのかな？</p> <p>実社会・地域への還元</p>
--	--	---	--



**本物の探究を  
めざす先生方へ**

PBL(プロジェクト型学習)を参考に  
答え(ひとつの解)のない問いを扱う  
実生活・実社会の課題を解決する  
社会へ還元する学習

児童生徒が  
作り出す

先生も地域  
に出て、探究

“よよい学校教育を通して  
よよい社会を創る!”

児童生徒になってほしい姿やつきたい力を中学校  
区の教職員で共有

つきたい力・そうなりたい姿の系統表の作成

	小学低学年	小学中	小学高	中学1学年	2学年	3学年
1. 探究活動の推進	探究活動の導入	探究活動の展開	探究活動の深化	探究活動の展開	探究活動の深化	探究活動の展開
2. 探究活動の推進	探究活動の導入	探究活動の展開	探究活動の深化	探究活動の展開	探究活動の深化	探究活動の展開
3. 探究活動の推進	探究活動の導入	探究活動の展開	探究活動の深化	探究活動の展開	探究活動の深化	探究活動の展開



1年目・2年目の  
くわしい実践内容  
は、こちらからご覧  
いただけます。



神石高原町立三和中学校区

**研究主題**

主体性を発揮する児童生徒の育成  
—「地域」を教材とした探究的な活動を通して—

児童生徒も

わくわく!  
ときどき!

先生も

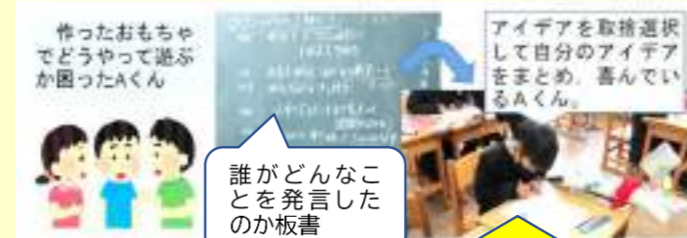
**1年目の研究内容**

- ① ルーブリック
- ② カードの活用
- ③ 指導者のファシリテート



「児童の実態把握と教師の出(で) (指導)」

指導者が全て段取りよく指導していくのではなく、児童の実態をしっかり把握し、児童がつまづいたときや、しっかり考えさせたいときにタイミングよく指導する。(出る)



教師の出

- ④ 本物にふれる
- ⑤ 研修方法

あらかじめ決めておいたグループの児童生徒がどんなつぶやきをしているか、どんな表情をしているか等、子ども一人ひとりの姿を見取る。その見取った姿をもとに語り合う教師集団をめざす。



**2年目の研究内容**

- ① 小中連携の充実
- ② 導入の工夫
- 異学年交流で自分事



トマトは、「いじめる」とおいしくなるんだよ! 「いじめる」というのは、水をやらずに育てることなんだって!

- 児童が自己決定
- 実際の社会にある課題を自分事に
- 自分をみつめる

③ 「立ち止まりポイント」の位置づけ

指導者が全てお膳立てしてスムーズに学習を進行するのではなく、児童に立ち止まって考えさせる場面を仕組む。立ち止まりポイントとは、児童の考えが進まない場面であったり、失敗した場面であったりする。立ち止まらせることで、思考を深めさせていく。



- ④ 指導者のファシリテート
- ⑤ 児童生徒の姿で語ることでできる教師集団

**3年目の研究内容**

① 「立ち止まりポイント」の効果的な位置付け  
児童生徒が意欲的に探究活動を行っているかを見取る。指導者は、ファシリテーターとしての立場をとり、活動をコーディネートしていく気持ちで児童生徒を見守り、しっかり試行錯誤させる。

② 児童生徒が学びやすい環境づくり

- 道具や材料の準備  
必要だと思う道具や材料をさりげなく準備しておいて、児童はそれを自分の考えで選択し活動を進めていく。
- 自己決定の場づくり
- 図書館司書との連携



こんにやくに関する本



ミツバチに関する本  
はちみつを使った料理本

○学習の足跡の掲示



③ 系統表に沿った見取り

「つきたい力・なりたい姿」の系統表に沿って、本時の児童生徒の姿がどうであったか、またそのための手立ては有効であったかについて協議する。



ICT活用(ジャムボード)



**月に一度の研究担当者会**

一年目は、オンラインで担当者会を行っていましたが、やはり、顔を合わせて話をする方が、遠慮なく交流することができました。困っていることや共有すべきこと、また、進捗状況等の確認をしました。町内共通サーバでのデータの共有も効果的でした。

# Ranking BEST3



「立ち止まりポイント」の効果的な位置づけ



本物にふれる



児童生徒が学びやすい環境づくり

実際に探究を行ってきた中学校区の先生方に「本物の探究」を目指すためのおすすめのお組を聞いてみました!!その理由も吹き出しで紹介!

「主体的に」活動させるために、これは外せない!

## 立ち止まりポイント編



### 三和小1年生 生活科「なつとなかよし」

水遊びの道具ができた後、「運動場の砂場を使って水遊びをすることができるよ。」と教師が伝えると...

でも、砂場には水がないよ。

たくさんバケツを用意して砂場へ水を運ぼう。

近くに水道もない。

無事、じょうろやホースを使って水を確保することができました。



それならじょうろも使えそう。

ホースをつなげるのはどう?

子どもが学習に、より本気になる姿が見られる!

困ったことがある→解決するのサイクルが増えることで、問題解決の力がつくだけでなく、子どもの自信や意欲につながる!

「神石のよさを伝える」という目的は変えず、その達成のために「売る」という活動を3回スパイラルに行ったことで、既習事項を活かす力や、実社会での販売の難しさや達成感を味わうことができ、ワクワクドキドキの総合につながった!

失敗から改善方法を考えることで、新たな学びになる!

ここで、子どもの思考が深まる!

子どもがより自分事として、深く追究しようと意識が高まる!

### 来見小3年生 総合的な学習の時間「めざせこんにやくマスター」

「こんにやくを使った料理が作りたいけれど...材料を買うお金がない!」

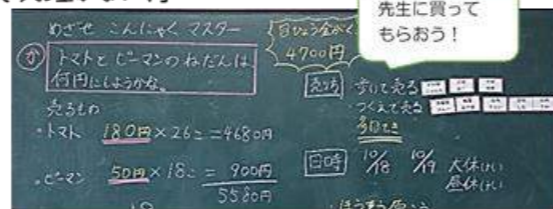
自分たちが作った野菜を売ったらどう?

校長先生にお願いに行こう!

今の5年生たちも学校のグラウンドで売っていたね!

放送もして、買ってもらうようによびかけよう!

実際に校内で先生に売って、材料費を集めることができました。



先生に買ってもらう!

### 来見小4年生 総合的な学習の時間「182ステーションで、いいもの売り隊」

「神石のよさ」を伝えるパンを考案してパン屋さんに提案するという活動。あるグループは、話し合うたびに作りたいパンの案が二転三転。なかなか決まらずグループのやる気も下がりがつあり、「これはもう限界かな?」と判断した指導者が、「みんなに相談してみる?」とファシリテート。そしてみんなに聞いて肯定的評価をもらうことで、グループ内にやる気が戻り、笑顔で次の活動へと進んでいきました。



おいしそう!

めっちゃいい!



私たちが考えたのは、パンじゃないんだけど...どうかな。

### 来見小6年生 総合的な学習の時間「私達の現在・過去・未来」

自分たちが将来つきたい職業の方に直接お話を聞いて、自分の生き方につなげていきたいと思った6年生。

ウエディングプランナー、保育士、漁師など、来てもらえない場合はzoomでつなぎ、本物のお話を聞くことができました。職業は違っても「相手のことを考えることが大切」など共通することもあり、自分の生き方に参考ができることは何かを考えながら聞くことができていました。



机上の空論とならない!

## 本物にふれる編

### 三和中1年生 総合的な学習の時間「神石の魅力再発見」

神石の魅力はたくさん知っているけれど...そこに携わる生産者の生の声に耳を傾けたことはある?



生産者の思いを汲んで、実現可能な範囲で自分たちにできることはないか目的意識をもって話を聞き、次なる自分たちの課題を考えることにつなげました。

新しい気づきができる!

子どもは経験がないと(ゼロベースだと)新たな考えは出せない!

### 三和中3年生 総合的な学習の時間「神石の未来に向けて」

人口増加のためにできることを考えた生徒は、自ら観光協会に掛け合い、自分たちの考えたツアーを提案したのですが...

7口の意見

他の地域と差別化できる推しポイントは?

対象とする年齢層は?

移動手段はどうするの?

子どもが自分の生活に活かそうとする!

本物を見る・体験するからこそ、興味や意欲が湧く!

計3回のプレゼンを経て、見事に1つのツアー(高齢者を対象とした「神石高原町でのんびりしませんか」ツアー)が実際に検討されることになりました。

## 学びやすい環境づくり編

### 来見小2年生 生活科「くんくんそだて! みんなのやさしい」

指導者は「自分が育てている野菜が他の友だちの野菜と絡まりそう。」「葉っぱに虫が来ている。」という困り事に対して、児童がどんなものを必要とするのかを予想して、様々な物を準備しました。その中から児童は困りごと解決のために必要な物を選んだり組み合わせたりしていききました。

自己決定の場づくり

これが使えそう! 虫よけて書いてあるよ!

しかけ(道具や材料の準備)



子どもの「やってみよう!」「調べたい!」を叶えるためには、教師が引き出しをもっておかななくては!

### 三和小5年生 総合的な学習の時間「誕生! 神石 food!」

図書館司書との連携

児童がハチミツやミツバチについての知識が深まり、活動を広げていくことができるように図書館司書と連携し、関連する本のコーナーを教室やワークスペースに設置しました。



### 三和小4年生 総合的な学習の時間「地域の野菜を使ったオリジナル料理を食べてもらおう!」

学習の足跡の揭示

学習の足跡を揭示することで、活動のつながりを意識するとともに、今後の活動に活かすことができるようにしました。作る料理を決めたり、レシピを調べたりすることに、夢中になるあまり、目的は何かということをおぼろげに忘れている児童の様子を捉えた指導者は、それまでの学習を振り返る時間を設けました。児童は、揭示を見ながら振り返ることで、本来の目的を再確認し、軌道修正することができました。



環境を整えることで、教師のこえかけがなくても、子どもの学びは進み、深まる!

これまでの学習を振り返るのにとっても便利! そうだった! あんなこと考えていた!



実践はこちらからご確認いただけます。  
※令和6年3月30日以降、ご利用いただけます。

## 令和5年度 総合的な学習の時間 小学3・4年生 「来てみて布野！～伝えたい！布野の自まを長江小に～」

### phase① 課題との出会い



布野にはたくさん自まできることがあるよね！

アスパラ作りと長江小との交流は続けたい！

↓だったら！！

「長江小の人に、ぜひ布野に来てもらって、喜んでもらって、また来たい！と思える布野にしよう！」

探究の過程を何度も繰り返す

### phase② 計画を立てる

(日時・相手) 令和5年11月 尾道市立長江小学校(4年生)  
(場所・方法) 尾道市 長江小学校4年生に、布野を紹介するプレゼンテーションをする。  
(条件) ・長江小の人が、布野に「行きたい！」「楽しい！」「また来たい！」と思ってもらえるようなプレゼンテーション内容にすること。  
・布野のよさが一目で伝わり、「行きたい！」と思ってもらえるキャッチコピーを考えること。

### phase③ ゴールに向けて友達と話し合いを行いながら活動に取り組む

空き地を活用して公園を作れないかな？



地域に出向き、アドバイスをいただく。

来てもらいたいなら動画を作ってYouTubeで発信しては？



動画を編集し、布野の良さが伝わるキャッチコピーを考え、パンフレットを作る。



実際にお客さんにインタビューしよう！



どう撮影すれば道の駅のよさが伝わるかな？



パンフレット完成！！



経費の問題で断念！でも！

布野の自まはまだある！

### phase④ 発表・振り返り (長江小との交流会)



長江小との交流会で、パンフレットを手に布野を紹介。  
振り返り・次の探究へ「これまでの成長を2分の1成人式で披露したい！」

## 令和5年度 総合的な学習の時間 中学3年生 「地域について学んだことを発信しよう～地域をより良くするために自分たちができることを考えて実行しよう～」

### phase① 現実の文脈に沿った課題と出会う

【昨年度までの取組】  
布野の特産品を使ったアスパラ生クリーム大福を企業と協働して開発し、販売プロモーション活動を行った。

【生徒が見つけた問い(単元を貫く問い)】  
布野の人々の生活をより良くするために、私たちは何をしなければいけようか。

探究の過程を何度も繰り返す

### phase② 成果の発表について事前に詳しく示される

(日時) 11月下旬～12月上旬  
(方法) 布野の課題やふるさと納税によって期待できること等についてスライド資料を作成して発表  
(相手・場所) 三次市役所地域振興部定住対策・暮らし支援課の方々  
(準備に使える授業時間) 28時間

### phase③ 成果の発表に向けて、自分たちで学習を調整しながら粘り強く取り組んでいく



### phase④ 成果の発表と探究活動全体を俯瞰した振り返りを行う



活動の振り返り  
・ふるさとを大切に思う気持ちを持ち続け、自分ができることを実行していきたい。  
・他の市へ出て色々なことを学び、それを布野に持ち帰って活かしていきたい。

【次の探究に繋がる問い】  
自己の在り方・生き方を考えながら自分の特性をどのように活かして社会と関わっていくか。

# 児童・生徒が本気で探究し、主体的に学びを深める授業を創いませんか？



交流から課題を見出す



活動計画を立てる



販売活動とインタビュー活動



地域活性化プロジェクト案の提案



専門家、企業、行政などへのインタビュー



新たな課題の発見

このリーフレットを参考に、探究的な授業を創り、児童生徒の資質・能力を育成していきましょう！

# 探究を充実させる4つのポイント！

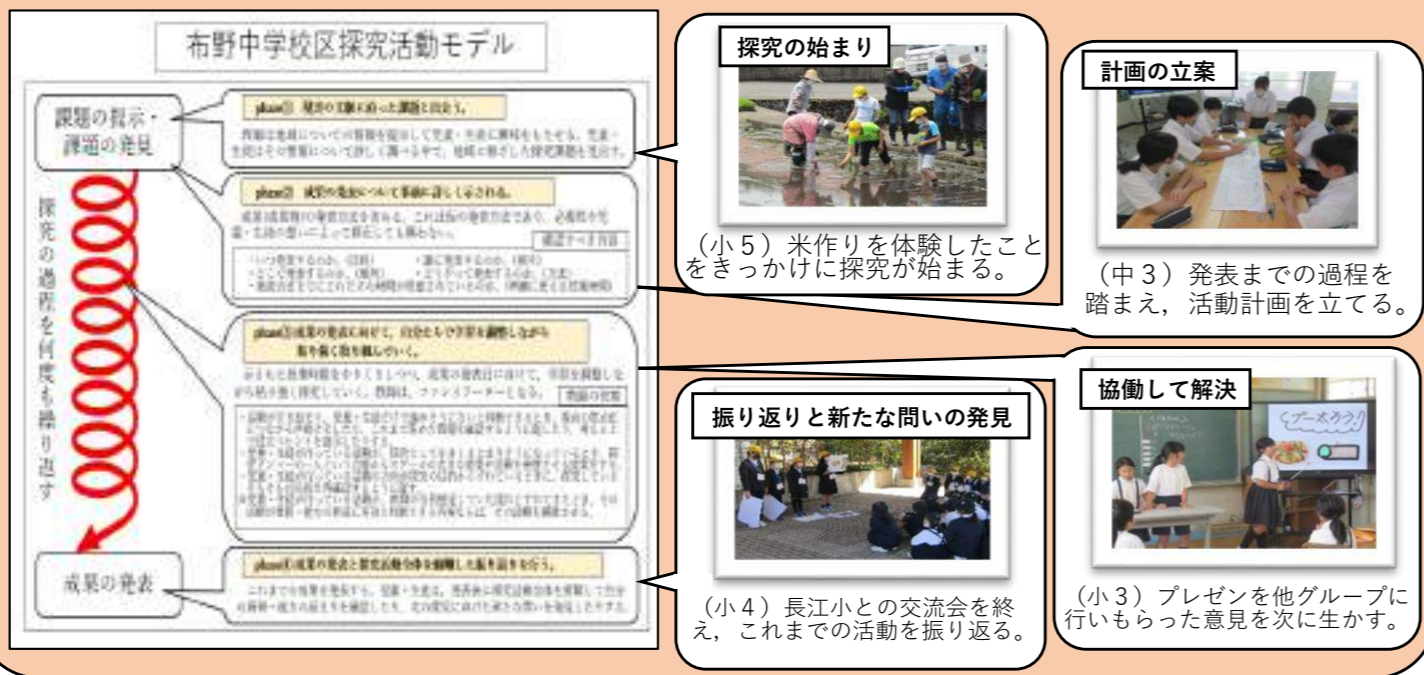
図や表を拡大してみたい方は、こちらのQRコードをご活用ください。



## PBLの考え方を取り入れた探究的な授業

PBL(プロジェクト型学習)

「授業での子どもたちの学びをプロジェクトとして組織し、その達成へと促す手法」であり、実生活・実社会の「答えがない問い」を扱い、その解決に向けて探究し、解決策を社会に提案・発信する。



## ルーブリックを活用した評価

布野中学校区  
オリジナルカリキュラム  
9年間を初期・前期・中期・後期  
に分け、資質・能力を段階的に育成

資質・能力を見取る  
ルーブリック

教師は、行動観察や振り返りをルーブリックで評価して、指導改善に生かす。



これおもしろいな～これもおもしろいな～(目的から離れていく)

①ルーブリックを活用した評価

・見通しをもって進められていないな。  
・目的も意識できていないぞ。

②評価結果の活用

【教師のファシリテート】  
・何のためにやってるんだっけ？  
・中間発表まであと何日かな？

あと3週間で発表するんだっけ！手分けして調べて、プレゼンを作っていこう！



児童・生徒は、本時の目標に対してルーブリックを活用した自己評価(振り返り)を行い、主体的な学び手となる。



【生徒の振り返り】  
今日の自分はB評価だった。  
様々な状況に対して適切に対応するために、周りをよく観察してやり方を決定していくようにしたい。

## 対話の充実

児童・生徒同士が、お互いに聞きたいことを率直に聞き合うことで相互理解が深まっていく！

発表者	聴き手	全体
新たな視点に気付き、新たな課題を見出せる。	発表内容や発表した友達の考えへの理解が深められ、自分の考えと比較ができる。	質問が集中したり、繋がったりした内容部分から中心課題を見出せる。

対話を充実させるための指導・支援

- 対話の場面や方法をふまえた単元計画の立案
- 「考えるための技法」や「対話のための技法」の活用
- 正解より考えを出し合い最適解に導くことが大切という価値観の共有
- 能動的に聴き合わせる

### 能動的に聴き合うためのポイント！

- 探究に関わる全員で「探究の目的」を確認し「単元を貫く問い」を設定する。  
(中1) 布野を活性化するために、地域資源をどのように活用していけばよいか意見を出し合い考える。
- 探究課題に対する意欲を高めさせ、主体的に活動に取り組みさせる。  
(小5) 育てた米をまずは自分たちが食べ、その魅力を全校にも伝えるための案を考え合う。
- 対話の前に自分の考えがもてるよう、課題と向き合い考える時間を確保する。  
(小1) 対話の前に、自分が秋見つけで撮影した写真に気付きを書き込み、それを基に話し合う。

## “本物”の探究

児童・生徒が主体的に真剣に課題解決をしている

- 課題解決が発展的に繰り返される
- 物事の本質を探ってみ極める
- 各教科等で育成された資質・能力が繰り返し活用・発揮される
- 自己の生き方を考える



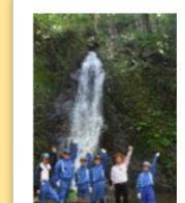
**年長さんと秋見つけ(小1)**  
年長さんと一緒に会い見つけ。「年長さんに楽しんでもらえるおもちゃを作りたい！」という思いをもつ。



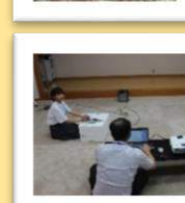
**布野図書館見学(小2)**  
学校図書室と比較するために、布野図書館を見学。働く人の工夫を知り、人が来なくなる図書室の改善につなげる。



**生産者の思いを知る(小6)**  
商品のメニュー開発を行う上で、生産者の思いを知る。この思いが大切だと知り、開発に向けて探究が始まる。



**八千代滝視察(中1)**  
地域の価値ある資源を再発見。滝の迫力や水の涼しさ等、この感動を多くの人に味わって欲しいとプロジェクトへの意欲を高める。



**大学生との交流(中2)**  
地域活性への思いをもつ大学生と交流。その熱意に触れ、地域活性について考え、自分たちができることを考え始める。



**インタビュー活動(中3)**  
地域の方に、地域への思いや困っていることをインタビュー。地域の課題を見付け、解決に向けて探究が始まる。

＜総合的な学習の時間＞

未来社会を切り拓く確かな資質・能力の育成に向けた探究的な学習の充実とカリキュラム・マネジメントの実現

地域や学校、生徒の実態、特色に応じたカリキュラム編成

教師が伸びる

総合的な学習の時間は、地域や学校、生徒の実態、特色に応じたカリキュラム編成を行い、実施する。教師は、自ら教材を開発し、指導計画を作成し、授業を生み出すことで社会とかかわり生徒と共に学び伸びる。

生徒が育つ

情報化やグローバル化といった加速度的に進化する社会的な変化、誰もが予測できなかった未曾有の感染症に対峙していくような、たくましく未来を生きる生徒を、総合的な学習の時間を核として社会とつなげ育む。

地域を活かす

生徒が地域のことを考え、地域行事に参画したり、地域に貢献したりすることで、より一層生徒の学びのために協力しよう、生徒の活動を支えていこうという地域協力隊は増え、生徒の学びは深まる。

3年間の目標は1つ

西城を元気に⇒地域活性化

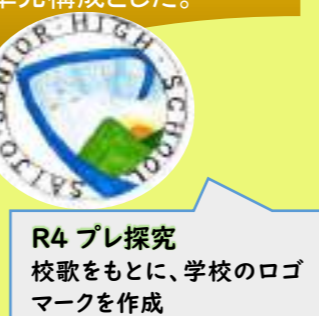
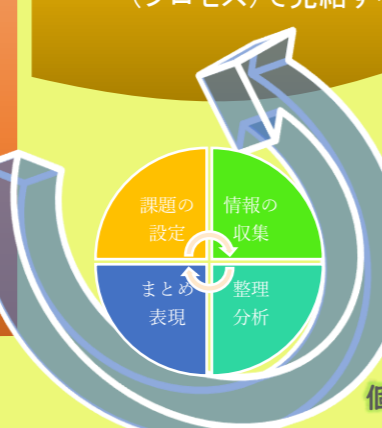


各学年のキーワードをもとに、単元開発を!

創造する1年目

単元づくりの見直し

- 各学年の特色やこれまでの取組を踏まえ、学習テーマを「郷土を考える」に設定して単元づくりを行った。
- 単元全体をストーリー、その単元全体を構成する小単元をプロセスと定義し、単元づくりを行った。プロセスは、総合的な学習の時間の探究の過程である「課題の設定」、「情報の収集」、「整理・分析」、「まとめ・表現」の4つで構成した。ストーリーのゴールに向け、1つ1つのプロセスの後に課題を更新しながら連続したプロセスでの取組により生徒の資質・能力を高めていく。



個人探究で新たなものを 自ら創る

各学年の取組を踏まえて課題設定 自ら計画 自ら実行 他者との交流

これからを創造

生徒

変化の激しい社会においても、西城中学校での学びを生かし、主体的に、協働的に、課題解決に向けて取り組み、自分自身のよさや可能性を実感しながら、常に先の目標を持って歩み続ける。

教師

生徒が自らの夢を叶えるために、如何なる課題に対しても乗り越えようと挑戦できるよう、これからは教師は社会のつながりの中で学ぶことができるような単元更新と単元開発に挑戦していく。

取組実践

- ☆R5 プレ探究の取組
  - ・「西中発信プロジェクト」とし、中学校からの発信として地域に向けてできることを提案した。
  - ・表現の充実に向け、取組過程でポスターセッションを設定した。
- ☆竹原市立吉名学園との情報交流(3年)
  - ・クイズやインタビューなど、スライド資料に頼らない伝え方の工夫を実践した。
  - ・畑の開拓を計画し、実行する次の取組に活かした。
- ☆有志によるプロジェクト参加型の活動
  - ・自主参加で授業以外の時間で活動した。
  - ・プレ探究での提案から梅の収穫・ジャムづくりを実行した。

伸長する3年目

協働を力に

- 個々の得意や興味関心を引き出しながらチームのパフォーマンスを発揮させることをねらいに加え、縦割り班でのプレ探究を設定した。
- 他者から新たな視点を得て生徒が活動を充実させること、自らの活動を他者へ伝えることで生徒が表現力を高めることをねらいとして、他校との実践交流会を設定した。
- 生徒に自主的な探究を促すために、プロジェクト参加型の取組を設定した。

農家さんと一緒につくった案山子をモデルにしたキャラクター「かかっしー」



取組実践

- ☆熱意をもったプレゼン(1年)
  - 地域を元気にするためのイベントを企画し、学校運営協議会に提案した。課題を改善しながら複数回自分たちの提案をし、熱意を伝えた。
- ☆協働活動による表現(2年)
  - 職場貢献の取組を進展させ、模擬会社を立ち上げ野菜販売会を実行した。組織として報告や相談のやりとりを通して昨年度以上の成果をあげた。
- ☆新たな挑戦と伝統の創造(3年)
  - 新たな伝統のひとつとして、畑を開拓した。これまでのつながりがある地域の方の協力を得ながら、畑を完成させ、次の学年に継承した。

表現力を力に

- 全学年で自分の思いや考えを他者へ伝える場をプロセス(小単元)に位置づけた。校内では生徒間、校外では他校の生徒、地域の方々や関係機関の方々との交流や協議の中で、プレゼン形式に捉われない多様な表現方法で発表に取り組みせ、コミュニケーション能力を高めた。

探究レポート

- これまでの学習を生かしながら課題解決に向けて各自が取組を進める探究レポートの取組を夏季休業中の時間を利用して行った。
- 個人で仮説を立てさせ、探究方針(計画)を考えさせた。最後に、調べたことや計画に沿って実行したことを基に自分の思いや考えをまとめ、考察させた。

振り返りシート改善

- 生徒の変容を把握し、指導に活かすため、生徒に成長や変容を意識させるために振り返りシートの充実を図った。
- 毎時間の振り返りでは、具体的に取組めた状況を生徒に示し、ポイントを絞った振り返りにした。プロセスの振り返りでは、次のプロセスの目標や学習活動を設定させ、次の学習活動に見通しを持たせた。

毎時間の振り返りシート



モヤモヤ

令和3年度

探究ってなんだろう？

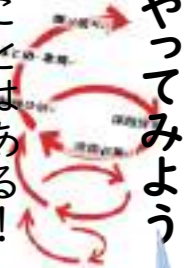
▼探究的な学習の在り方に関する研究推進地域事業指定校になる  
探究って・・・?! 子供も先生も一緒に挑戦

▼とりあえず手探りでやってみよう

課題の設定の工夫

探究の流れをつかむ

コロナ禍：でもできることはある！  
教師のフィールドワーク！



▼学習環境から工夫していこう

成果物を壁や廊下等に掲示

昨年度の学習の足跡づくり

ICTもやってみよう！

▼プレ探究スタート！

テーマ「学校生活をよりよく楽しくするための取組を考えよう」



ブース



経験



おもちゃ  
研究所



学習のあしあと



制作



キャラクター作り⇒

# 西城小学校の探究的な学習

これまでの

# 歩み

ドキドキ

令和4年度

こういうことかな？

▼推進リーダーによる理論研修

単元ってどう作ればいいのか？

課題は「情報収集」「まとめ・表現」

▼自ら歩いて地域とつながる

教師のフィールドワーク！

少しずつつながる地域と学校

▼ワークシート・リフレクションシートの工夫

ポートフォリオ作りを通して

児童の自己評価を！

▼バトン探究でつなげよう

各学年の学びを下学年に伝える

学校運営  
協議会で  
発表



地域  
連携



出張  
ミーティング



保小連携



地域からのお返し！

わくわく

令和5年度

いよいよ集大成だ！

▼推進リーダーによる理論研修で方向性を揃えて

今年度の課題は「表現力」「整理・分析」

▼今年もプレ探究！

テーマ「新しく来られた先生方に、

西城のことや西城小学校のことを伝えよう」

▼もっと地域とつながる

教師のフィールドワーク！

ゲストティーチャー・インタビュー・見学

地域からの依頼も！

灯籠作ってください

▼自分達の計画を実行！

祭りへの参加・出店

これまでの学習を活かして



制作



自分たちの想いを実現！



ヒバゴン井



地域のお店とコラボしたい！



商品  
開発

フィールド  
ワーク



ゲスト  
ティーチャー



統一した取組！

- アンケート
- プレ探究
- 振り返りシート

交流



校内研修への参加



推進リーダー  
による研修



西城を元気に！

小中連携



単元づくりや  
西城中学校の  
現状・課題を共有

プレ探究とは・・・

3～6年生の縦割り班に分かれ、課題を解決していく活動！  
異学年で行うことで、リーダーの育成ができ、探究の流れをとらえることができます。

これからも自分達で考え、行動し、つなげていく